経済産業省

（資料8）
今後の支援の方向性

診断・治療別の分析まとめ

	診断	治療
米国の動向	• M&A件数：IPO件数≒４：１程度とM&Aが多い • 近年は特にAI解析技術の取り込みを中心に、**「技術補完」目的のM&A**が多い傾向	• M&A件数：IPO件数≒４：１程度とM&Aが多い • 同診療科内での**「プラットフォーム拡張」目的のM&A**が多い傾向
日本の動向	【大手／SUの事業領域とM&A動向】 • **内視鏡を除き日系大手企業がいる領域に、SUも多く存在。** • **日系大手による日系SUのM&Aは直近10年間では無い** • ＜画像診断・内視鏡等＞既に浸透している自社製品をインフラとしたプラットフォームの競争力強化を求め、SUに対し、ビジネスアイディアより技術的ブレイクスルーを求める傾向。SU開発領域が自社開発領域と近づきやすく、アーリーステージでの技術評価に重点を置く傾向。 • ＜検体検査・生体計測＞自社ポートフォリオと一致する新規検査技術や個別化医療技術でのスタートアップへの期待があるが、大手目線での事業立案をサポートできる人材が不足 【官民による支援／出資動向】 • 公的支援・VC投資ともに、採択／出資件数は比較的多いが、当該領域のSU数を踏まえると注力度は中程度	【大手／SUの事業領域とM&A動向】 • **日系大手の領域と日系SUの不一致領域が複数存在。** • **日系大手による日系SUのM&A事例が存在。** • 国内の治療機器SUの数が少なく、米国SUは数が多く初期から自社含む大手へのM&Aを強く志向していることから、日系大手のSU情報収集は米国が中心 • 初期のSUへの関与は、大きなリソースを伴うことから積極的関与は少なく、専門のVCやアクセラレータへの期待がある。一方、企業戦略として、初期にSUとの事業の方向性一致を図る伴走を行うケースも存在。 【官民による支援／出資動向】 • 循環器・その他治療機器において、特に公的支援・VC投資割合が大きい。また、公的支援では整形外科、VC投資ではDTxの割合も大きい

大手企業とスタートアップの連携に向けた各プレイヤの関わり方

- プラットフォーム性の強弱によって、大手企業が求めるSUの支援内容は一部異なるが、自社関心分野への一致性を図る機会、アイデア・技術の実現の支援については一致。

ステージ

基礎研究・起業 → 非臨床・臨床 → 国内での認可等 / 米国での認可等 → グローバル展開

大手企業のかかわり方の例

基礎研究・起業	非臨床・臨床	国内での認可等 / 米国での認可等	グローバル展開
アーリーフェーズでの関心表明（≒企業フィルター） ・CVC等による出資 ・ピッチでの表彰	**アクセラレータ、VCの関与等によるSUの自律的な成長を促進**		事業性が十分に確保された時点でのM&A/販売連携

プラットフォーム性

強（例：画像診断機器）

技術補完傾向	SUを取込んだ成長を想定	自社での支援
自社関心分野への一致性	アイデア・技術の実現	ビジネスプラン
PF拡張傾向	SU自身での成長を期待	VC、アクセラによる支援を期待

弱（例：治療機器）

論点

- **大手企業を巻き込んだフィルトレーション機会（MedTech ROUND等）は既存で十分か？どのような仕組みが求められるか？**
- **フィルトレーション後のSUの事業性を確立する支援機能（MEDIC等）を充実させる仕組みとしてどのような内容が求められるか？**
- **大手の事業領域、関心分野を考慮したSU支援領域を設定すべきではないか。**

まとめ（案）

- 今後の政策として、**国内の医療機器産業の成長および外貨獲得**が重要。
- 産業の成長には**研究開発を通じたイノベーションの創出とグローバル展開による投資回収の循環**が必要。
- 医療機器産業において、イノベーションを創出するプレーヤーとして既存企業（大手企業、中堅企業等）とスタートアップが存在。
- 既存企業によるイノベーションにおいては、**インハウスでの研究開発**とオープンイノベーションによる**外部のイノベーションの取り込み**（スタートアップとの連携等）が重要。
- 既存企業のインハウスでの研究開発によるイノベーション促進では、**研究開発税制等の活用や資金力の強化等**が今後重要。
- 一方、オープンイノベーションによる外部のイノベーションの取り込みにおいては、スタートアップの活用が重要であり、**スタートアップによるイノベーションの成功事例の創出が必要**。
- スタートアップに対してはハード・ソフトの両面を兼ね備えた研究開発支援を実施しているが、**特に医療機器産業においては、出口は既存企業が担うことが多く、開発後期になるにつれて、既存企業のリソースの活用が成功への一助**となり得る。ただし、**現状では、「出口を見据えた」開発に対して課題が多数存在**。
- 今後、医療機器産業の成長と外貨獲得という目標に向け、**既存企業の事業領域や関心分野といった連携を見据えた開発に対する支援やスタートアップが既存企業との連携までの成長を支援するアクセラレーター等のソフト面の支援を強化することが重要**ではないか。